

消防年報

自然好き 人が好き 入間市大好き

2009



入間市消防本部

平成21年度刊行

入間市民憲章

— 昭和49年6月1日制定 —

わたくしたちは、武蔵野の自然にめぐまれた入間市を愛し、より明るく、豊かな文化の町をつくるためここに市民憲章を定めます。

1. 自然を愛し、

環境のよいまちをつくりましょう。

1. きまりを守り、

平和な住みよいまちをつくりましょう。

1. 健康で働き、

希望にみちたまちをつくりましょう。

1. 教養を高め、

心豊かなまちをつくりましょう。

1. お互いに助けあい、

やすらぎのあるまちをつくりましょう。

はじめに

入間市消防本部は昭和42年4月1日発足以来、地域住民の生命、身体、財産を火災及びその他の災害から守るため、消防団及び消防関係者と一丸となって「安心してらせるまち」をめざして、市民各位の期待と信頼に応えるべく懸命に努力しております。

この消防年報は、平成21年度当初における入間市の消防業務に関する基本的な事項を統計的に収録したもので、今後の消防行政の参考に資するとともに、入間市消防の現況と発展の推移を広く一般に紹介し、消防行政の実態を御理解いただくことを目的として編集しました。

内容については、原則として基準日を以って作成いたしましたものですが、予算関係については会計年度とし、それ以外のものについては、調査年月日で記載しました。

この年報が消防関係はもとより、広く関係各位に利用され、消防行政に対するより一層の認識と御理解をいただき、消防、防災体制の確立のため特段の御支援、御協力をいただければ幸いです。

入間市消防本部

目 次

入間市消防の沿革	1
位置と地勢	11
人口・世帯の推移	12
第1章 組織及び予算	
第1-1表 消防機関の組織図	13
第1-2表 消防総務課・警防課・予防課事務分掌	14
第1-3表 消防署事務分掌	15
第1-4表 消防職員現有人数	16
第1-5表 消防職員年齢状況	17
第1-6表 消防職員勤続年数状況	17
第1-7表 職員教育実施状況	18
第1-8図 職員一人当たりの負担人口	19
第1-9図 職員一人当たりの負担世帯	19
第1-10表 消防力の整備指針と現有勢力の比較	20
第1-11表 市予算に対する消防費（当初予算）	21
第1-12表 平成20年度消防費内訳（当初予算）	21
第1-13表 消防費と人口・世帯に対する割合	21
第1-14表 基準財政需要額に対する消防費	22
第1-15表 常備消防費の職員1人当たりの割合	22
第1-16表 平成18年度決算状況	22
第2章 施設及び機械	
第2-1表 消防庁舎	23
第2-2表 消防車両一覧表	24
第2-3表 消防機器一覧表	25・26
第2-4表 地区別消防水利設置状況	27
第2-5表 年別公設消防水利設置状況	27
第2-6表 消防無線一覧表	28
第3章 予防関係	
第3-1表 防火対象物一覧表	29
第3-2表 防火査察実施状況	30
第3-3表 消防用設備等設置状況	31
第3-4表 中高層建築物（用途別・階層別）調査表	32
第3-5表 建築同意等の状況	33
第3-6表 各種届出状況	34
第3-7表 防火管理者資格取得状況	34
第3-8表 防火管理者選任状況	35
第3-9表 住宅防火訪問実施状況	36
第3-10表 地区別危険物施設数	37
第3-11表 数量別危険物施設の状況	38
第3-12表 民間防火組織の状況	39
第3-13表 防火安全協力団体の状況	40
第4章 火災	
第4-1表 火災発生状況	41
第4-2図 地区別火災発生状況	42
第4-3表 火災覚知状況	42

第4-4表	原因別火災発生状況	43
第4-5表	火災による死傷者数	43
第4-6表	時間別火災発生状況	44
第4-7表	曜日別火災発生状況	44
第4-8表	年度別火災発生状況	45
第4-9表	月別火災発生状況	45
第4-10表	応援出場状況	46
第5章 救急・救助		
第5-1表	救急出場等の状況	47
第5-2図	救急出場及び搬送人員の推移	47
第5-3表	署所別・出場件数	47
第5-4表	程度別搬送人員の状況	48
第5-5図	事故種別搬送人員	48
第5-6表	男女別搬送人員の状況	49
第5-7図	年齢別搬送人員	49
第5-8図	高齢者の搬送人員と搬送割合の推移	50
第5-9表	交通事故に伴う発生場所別負傷程度	51
第5-10図	道路別件数	51
第5-11表	救急隊員の行った応急処置実施状況	52
第5-12図	処置別	52
第5-13表	普及啓発活動状況	53
第5-14図	普及啓発	53
第5-15表	年度別救助出動及び活動状況	54
第6章 通信・気象		
第6-1図	通信系統図	55
第6-2表	覚知別受信状況	56
第6-3表	病院照会科目別件数	56
第6-4表	自動案内着信件数及び防災行政無線放送回数	56
第6-5表	地震計作動状況	56
第6-6表	気象情報受信件数	57
第6-7表	月別気象状況	57
第7章 消防団		
第7-1表	消防団員の条例定数と現有	58
第7-2表	消防団編成表	58
第7-3表	消防団員報酬	58
第7-4図	団員一人当たりの負担人口	59
第7-5図	団員一人当たりの負担世帯	59
第7-6表	消防団員年齢状況	60
第7-7表	消防団員勤続年数状況	60
第7-8表	分団別職業別人員	61
第7-9表	消防団各部所在地	62
第7-10表	消防団消防ポンプ一覧表	63
	全国統一標語	64

入間市消防の沿革

◇昭和40年

4月1日 消防本部、消防署発足準備のため、武蔵町役場内にて業務開始。

◇昭和41年

7月 指令車を配備する。

◇昭和42年

1月 化学消防ポンプ自動車を配備する。

2月 大字小谷田581番地に消防庁舎完成。

4月1日 入間市消防本部・消防署・消防団本部（移転）業務開始する。

” 消防長に三吉道雄氏（市長）就任。職員22名。車両2台。

” 4月1日 西武町の編入合併により消防団を6分団制から7分団制とし、西武地区入間市消防団第7分団とする。消防団長齊藤政二氏、団員371名。

8月15日 第2分団第2部、第7分団第3部に可搬動力ポンプを配置する。

9月1日 最新型の救急車（トヨタ・メトロポリタン型）を署に配置し、救急業務を開始する。

9月5日 第6分団に消防ポンプ自動車を配置する。

12月1日 消防用超短波無線（基地局1・積載移動局2・携帯局2）を署に配置する。

◇昭和43年

3月7日 日本消防協会長から団旗竿頭綬を授与される。

8月28日 埼玉県石油業組合入間支部から赤バイ（ホンダCB360）の寄贈を受け署に配置する。

9月28日 消防団員定数を355名に改正する。

◇昭和44年

2月6日 水そう付消防ポンプ自動車を署に配置する。

3月4日 消防庁長官から竿頭綬を授与される。

4月1日 消防団長に浅見文蔵氏再就任する。

10月9日 消防団員定数を342名に改正する。

◇昭和45年

3月30日 入間市ライオンズクラブから救急車の寄贈を受け、署に配置し救急業務の円滑を図る。

6月2日 入間市防火安全協会が設立される。（会員数266）

7月30日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け署に配置する。

10月1日 消防団員定数を335名に改正する。

◇昭和46年

4月1日 消防職員定数を45名に改正する。

11月11日 梯子付消防ポンプ自動車（24m級）を署に配置する。

◇昭和47年

4月1日 消防職員定数を60名に改正する。

11月11日 第1分団第2部、第7分団第1部及び第2部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇昭和48年

1月30日 入間市防火安全協会から業務用連絡車（トヨペットクラウン）の寄贈を受け、消防本部に配置する。

4月1日 航空自衛隊入間基地と消防相互応援協定を締結する。

◇昭和49年

3月30日 第5分団第4部の消防ポンプ自動車を更新する。

5月7日 西武百貨店から水そう付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、第1分団第1部の車両を更新する。

◇昭和50年

1月14日 災害多様化に対処するため救助工作車を署に配置する。

◇昭和51年

3月4日 消防庁長官から表彰旗を授与される。

6月1日 消防長に粕谷甲子蔵氏就任する。

8月21日 消防本部に指令車（ニッサンブルーバード）を配置する。

11月15日 入間市ロータリークラブから指令車（ホンダシビック）の寄贈を受け、消防本部に配置する。

11月15日 第2分団第5部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇昭和52年

11月18日 第4分団第5部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇昭和53年

3月3日 救急車（2B型）を更新する。

6月14日 作業用トラック（イズズエルフ）を署に配置する。

11月2日 第3分団第3部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇昭和54年

1月1日 消防長に栗原由左右氏就任する。

3月24日 大字仏子755-4番地に会議室を併用した車庫が完成、第7分団第1部が移転する。

3月27日 東京消防庁と消防相互応援協定を締結する。

4月1日 消防職員定数を81名に改正する。

7月29日 第1回消防団ポンプ操法大会豊岡小学校校庭において実施する。
（自動車の部12台、小型動力ポンプの部14台出場）

8月1日 東京都瑞穂町及び東京都青梅市と消防相互応援協定を締結する。

9月1日 入間川右岸において第1回入間市総合防災訓練を実施する。（41団体 2,800名参加）

11月10日 第3分団第1部及び第2部の小型動力ポンプを廃止し、大字木蓮寺879番地に会議室を併用した消防車庫を新設、第1部、第2部を統合し、第3分団第1部とし消防ポンプ自動車を配置する。

11月10日 大字小谷田483-2番地に会議室を併用した消防車庫を新設し、第2分団第1部の小型動力ポンプを廃止し、第1部及び第5部を統合して第2分団第1部とする。

◇昭和55年

- 3月29日 東町二丁目1075番地45号に会議室を併用した車庫を新設、消防ポンプ自動車を更新し第1分団第4部を移転する。
- 4月1日 消防団長に大野快三氏就任する。
- 8月31日 西武地区において地域防災訓練を実施する。
- 10月29日 第5分団第1部・第2部・第3部の小型動力ポンプを廃止。大字下藤沢字谷ッ1097番地7号に会議室を併用した消防車庫を新設、第1部、第2部を統合し第5分団第2部とし、消防ポンプ自動車を配置、第3部、第4部を統合し第5分団第1部とする。

◇昭和56年

- 3月24日 大字新久465番地14に会議室を併用した車庫を新設、第2分団第2部が移転する。
- 3月27日 救急車(2B型)を更新する。
- 3月27日 水そう付消防ポンプ自動車を署に配置する。
- 4月1日 消防団長に西久保忠雄氏就任する。
- 4月1日 消防団員定数を300名に改正する。
- 4月1日 埼玉県救急医療情報システムディスプレイ装置導入される。
- 8月30日 藤沢地区において地域防災訓練を実施する。
- 10月28日 第4分団第2部・第4部の小型動力ポンプを廃止。宮寺2361番地3に会議室を併用した車庫を新設、第2部・第4部を統合し第4分団第2部とし、消防ポンプ自動車を配置する。第5部を第4部とする。
- 11月19日 危険物災害に対処するため化学消防ポンプ自動車を更新する。

◇昭和57年

- 3月16日 通信指令係を新設し、最新整備の救急指令装置を設置する。
- 3月 複雑多様化する消防業務に対処するため防音構造の消防庁舎を増築する。
- 7月26日 消防庁舎落成祝賀竣工式を挙げる。
- 7月30日 一市民より積載車の寄贈を受け、第7分団第3部に配置する。
- 8月29日 東金子地区において地域防災訓練を実施する。
- 10月1日 消防団員定数を287名に改正する。
- 10月28日 第2分団第2部の小型動力ポンプを廃止し、消防ポンプ自動車を配置する。
- 11月12日 第1分団第3部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇昭和58年

- 1月1日 消防長に平山 弘氏就任する。
- 3月18日 高倉4-173番地1号に会議室を併用した車庫を新設、第1分団第3部が移転する。
- 3月18日 大字小谷田池ノ下1387番地1号に会議室を併用した車庫を新設、第2分団第3部が移転する。
- 4月1日 消防職員定数を90名に改正する。
- 7月31日 第2回消防団消防操法大会を新久小学校校庭において実施する。
- 8月28日 金子地区において地域防災訓練を実施する。
- 10月29日 第3分団第2部の消防ポンプ自動車を更新する。
- 10月29日 第2分団第3部及び第4分団第3部の小型動力ポンプを小型動力ポンプ付積載庫に更新する。

- 11月18日 第7分団第3部の小型動力ポンプを更新する。
- 12月1日 宮寺1780番地5に会議室を併用した第4分団第3部の車庫を新設する。
- 12月26日 大字花ノ木238番地1に会議室を併用した車庫を新設、第3分団第3部が移転する。

◇昭和59年

- 3月24日 水そう付消防ポンプ自動車（署）を更新する。
- 4月1日 消防本部に消防課を新設する。
- 8月26日 宮寺地区において地域防災訓練を実施する。
- 9月11日 査察広報車を消防課に配置する。
- 10月31日 宮寺309番地6の第4分団第1部を会議室を併用した車庫に改築する。
- 11月6日 第6分団の消防ポンプ自動車を更新する。
- 11月6日 消防ポンプ自動車（署）を更新する。
- 12月7日 野田562番地1の第7分団第2部を会議室を併用した車庫に改築する。
- 12月24日 第2分団第4部及び第4分団第1部の小型動力ポンプを小型動力ポンプ付積載車に更新する。

◇昭和60年

- 6月5日 入間市幼年消防クラブ結成。（7団体720名）
- 7月1日 大字下藤沢858番地に分署新築工事着手。
- 7月20日 指令3号車（消防課）を更新する。
- 8月16日 大字上藤沢876番地1に会議室を併用した車庫を新設、第5分団第1部が移転する。
- 9月1日 豊岡地区において地域防災訓練を実施する。
- 10月29日 埼玉県消防協会長から表彰旗を授与される。
- 12月13日 宮寺596番地1の第4分団第4部を会議室を併用した車庫に改築する。

◇昭和61年

- 3月22日 指令4号車を消防課へ配置する。
- 3月30日 牛沢町2025番地1に会議室を併用した車庫を新設し、第2分団第4部が移転した。
- 4月1日 消防職員定数を110名に改正する。
- 4月1日 大字下藤沢858番地に消防署藤沢分署開署する。水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指令車1台、職員19名配置。
- 8月8日 指令2号車（消防課）を更新する。
- 8月31日 扇町屋地区において地域防災訓練を実施する。
- 11月16日 大字新光475番地9の第7分団第3部を会議室を併用した車庫に改築する。
- 12月12日 第1分団第2部及び第7分団第1部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇昭和62年

- 3月25日 大字三ツ木184番地4に会議室を併用した車庫を新設、第3分団第2部が移転する。
- 3月25日 大字二本木1102番地に会議室を併用した消防車庫を新設、第6分団が移転する。
- 3月31日 日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、署に配置する。
- 4月1日 消防長に新藤周治氏就任する。
- 7月20日 指令1号車（消防課）を更新する。
- 8月30日 黒須地区において地域防災訓練を実施する。

- 9月1日 大字野田2182番地に(仮称)西武分署新築工事着手する。
10月25日 第3回消防団消防操法大会を金子小学校校庭において実施する。

◇昭和63年

- 4月1日 大字野田2182番地に消防署西武分署を開署する。水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指令車1台、職員19名配置。(庁舎は西武鉄道㈱から寄贈)
4月1日 消防団長に河村七郎氏就任する。
6月13日 作業トラック(署)を更新する。
8月23日 第15回埼玉県消防操法大会に第3分団第2部が狭山支部の代表として出場する。
8月28日 西武市民運動場において、総合防災訓練を実施する。
11月8日 第5分団第1部の消防ポンプ自動車を更新する。
12月7日 人間ガス㈱から地震計の寄贈を受け消防本部に設置する。

◇平成元年

- 3月29日 救急5号車(藤沢分署)を更新する。
4月1日 消防長に吉野隆志氏就任する。
4月1日 消防職員定数を117名に改正する。
4月16日 扇町屋一丁目11番に会議室を併用した車庫を新設し、第1分団第1部が移転する。
8月27日 藤沢地区をモデル地区とした地域防災訓練を実施する。
11月6日 普通消防ポンプ自動車(本署)を配置する。
11月6日 第3分団第3部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇平成2年

- 2月28日 第1分団第1部の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
3月29日 鍵山一丁目259-1の第1分団第2部車庫を会議室を併用した車庫に改築した。
4月1日 消防職員定数を125名に改正。
4月1日 消防署の組織を一部変更し、統括司令職及び救助救急中隊を設ける。
4月1日 消防団員定数を289名に改正する。
8月26日 東金子地区と藤沢地区の一部をモデルとした地域防災訓練を実施する。
9月5日 連絡車(トヨタクラウン)を更新する。
9月16日 第4回消防団ポンプ操法大会を宮寺小学校校庭において実施する。
(消防ポンプ車の部16台、小型動力ポンプ車の部5台)
10月16日 防火安全協会からワゴン車(9人乗)を寄贈され、消防本部に配置する。
11月20日 第2分団第1部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇平成3年

- 3月25日 救助工作車を更新する。
4月1日 消防職員定数を126名に改正
" 消防本部の組織を一部改正し副参事職を置く。
8月25日 金子地区をモデルとした地域防災訓練を実施する。
10月25日 消防団第4分団第4部のポンプ自動車を更新する。

◇平成4年

- 2月28日 梯子付消防ポンプ自動車（38m級）を本署に配置する。
これまで本署に配置されていた梯子付消防ポンプ自動車（24m級）を藤沢分署に配置する。
- 4月1日 消防長に高山 基氏就任する。
- 7月31日 消防署西武分署に訓練塔竣工、使用開始する。
- 8月30日 宮寺、二本木地区を対象として、地域防災訓練を実施する。
- 11月2日 消防団第3分団第1部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇平成5年

- 4月1日 消防職員定数を135名に改正する。
〃 消防団長に近藤卓二氏就任する。
- 7月27日 (財)日本消防協会から消防指令広報車を寄贈され消防署に配置する。
- 8月29日 西武地区を対象として、地域防災訓練を実施する。
- 9月19日 第5回消防団ポンプ操法大会を藤沢北小学校校庭において実施する。
(消防ポンプ車の部16台、小型動力ポンプ車の部5台)
- 10月26日 消防団第1分団第4部の消防ポンプ自動車を更新する。
- 11月18日 自治体消防45周年記念大会が東京ドームにて開催される。

◇平成6年

- 3月15日 本署の水槽付消防ポンプ自動車（A-2型）を1-B型に更新する。
- 4月1日 消防職員定数を147名に改正、消防本部に予防課を新設し消防署の組織を係制に改正する。
〃 消防団長に森田 廣氏就任する。
- 8月28日 豊岡地区（31区中）16区を対象として、地域防災訓練を実施する。
- 12月21日 消防団第5分団第2部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇平成7年

- 3月15日 本署に高規格救急車を配備する。
- 8月27日 豊岡地区（31区中）15区を対象として、地域防災訓練を実施する。
- 10月1日 消防団員定数を303名に改正する。
- 10月1日 消防団第5分団に第3部を新設する。
- 11月11日 24m級梯子付消防ポンプ自動車を廃車する。
- 11月30日 消防団第4分団第2部の消防ポンプ自動車を更新する。

◇平成8年

- 2月9日 日本消防協会から消防団へ表彰旗を授与される。
- 2月25日 入間川河川敷にポンプ操法訓練場が完成する。
- 3月15日 化学消防ポンプ自動車（署）を更新する。
- 3月24日 消防団第5分団第3部に会議室を併用した車庫を新設し、消防ポンプ自動車を配備する。
- 4月1日 消防長に水村文夫氏就任する。
- 8月25日 入間市全地域を対象として、地域防災訓練が実施される。

9月8日 第6回消防団消防操法大会を水出し操法で実施する。

(消防ポンプ車の部17台、小型動力ポンプ車の部5台)

10月26・27日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。

12月24日 消防団第1分団第3部の消防ポンプ自動車、第7分団第3部の小型動力ポンプ付積載車を更新する。

12月25日 本署に指揮車を配置する。

◇平成9年

3月5日 西武分署に高規格救急車を配備する。

3月11日 藤沢分署の指令4号車を更新する。

3月25日 消防サイレン遠隔吹鳴装置を配備する。

4月1日 消防職員定数を153名に改正する。

7月10日 予防課広報車を更新する。

8月31日 入間市全地域を対象として、地域防災訓練を実施する。

10月16日 消防団第2分団第2部の消防ポンプ自動車、第2分団第3部の小型動力ポンプ付積載車を更新する。

11月9日 狭山市消防本部、埼玉西部広域消防本部、東京消防庁青梅消防署、埼玉県防災航空隊との合同による加治丘陵山林火災を想定とした山林火災消防演習を実施する。

11月11日 消防フェアを丸広百貨店で実施する。

◇平成10年

1月19日 消防団本部広報車を消防署に配置する。

1月29日 埼玉県環境部より地震体験車が譲受される。

2月24日 医師会との合同による電車事故を想定とした集団救急事故訓練を、西武池袋線入間市駅で実施する。

3月11日 藤沢分署に梯子付消防ポンプ自動車(15m級)を配置し、藤沢分署消防ポンプ自動車を更新する。

3月20日 消防署に消防団本部資器材搬送車を配置し、西武分署指令車を更新する。

3月25日 消防庁舎増改築事業完了。消防緊急通信指令施設を更新し運用を開始する。

4月1日 消防長に小林征二氏就任する。

4月1日 入間市女性防火クラブ結成。

6月30日 予防課に連絡4号車を配置する。

7月29日 予防課指令2号車を更新する。

7月30日 入間川(豊水橋上流)にて狭山市消防本部、所沢市消防本部との合同による、三市消防本部合同水難救助訓練を実施する。

8月28日 大字西三ツ木184-4の消防団第3分団第2部車庫を、大字西三ツ木177-6に移動し、会議室を併用した車庫を新築する。

8月29日 入間市全地域を対象として、地域防災訓練を実施する。

10月24・25日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。

10月27日 消防団第3分団第2部の消防ポンプ自動車、第4分団第3部の小型動力ポンプ付積載車を更新する。

11月13日 NTTプリンテック埼玉狭山台工場にて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊及び、NTTプリンテック自衛消防隊との合同による、大規模建物火災消防演習を実施する。

◇平成11年

3月5日 藤沢分署に高規格救急車を配備する。
8月29日 入間市全域を対象として、地域防災訓練を実施する。
9月12日 第7回入間市消防団消防操法大会を実施する。
9月26日 第1回狭山・入間支部消防団消防操法大会を実施する。
10月23・24日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
11月1日 消防団第6分団の消防ポンプ自動車、第2分団第4部の小型動力ポンプ付積載車、第4分団第1部の小型動力ポンプ付積載車を更新する。
11月12日 太陽ステンレススプリング（株）埼玉第1工場にて狭山市消防本部、所沢消防本部及び太陽ステンレススプリング自衛消防隊との合同による、特異災害消防演習を実施する。

◇平成12年

1月22日 東光寺にて文化財防火演習を実施する。
3月15日 普通1号車（署）を更新する。
8月23日 第21回埼玉県消防操法大会にて、消防団第4分団第3部が小型ポンプの部で優勝する。
8月27日 入間市全域を対象として、地域防災訓練を実施する。
9月19日 防火安全協会から軽ワゴン車（4人乗）を寄贈され消防本部に配置する。
10月19日 第17回全国消防操法大会において消防団第4分団第3部が小型ポンプの部で敢闘賞を受賞する。
10月28・29日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
11月10日 入間市庁舎にて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模火災演習を実施する。
11月21日 消防団第7分団第2部の消防ポンプ自動車を更新する。
12月22日 消防課指令1号車を更新する。

◇平成13年

1月20日 久保稲荷神社にて、文化財防火演習を実施する。
3月15日 西武分署速消3号車を更新する。
3月29日 入間市消防団団旗、分団旗を更新する。
4月1日 消防長に荒井恵久氏就任する。
6月28日 予防課連絡3号車を更新する。
8月26日 入間市全域を対象として、地域防災訓練を実施する。
10月27・28日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
11月12日 サイオスにて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模災害演習を実施する。

◇平成14年

1月26日 光円寺にて文化財防火演習を実施する。
3月6日 本署の救急自動車（2B型）を高規格救急自動車に更新する。

- 3月6日 消防団7分団1部の消防ポンプ自動車を更新する。
- 3月18日 入間市市民会館にて埼玉県、狭山保健所、入間市医師会、埼玉県警、自衛隊との合同による、入間市生物化学テロ対策訓練を実施する。
- 4月1日 消防職員定数を157名に改正する。
- ” 消防団組織の統廃合を行い7分団21部に改正する。
- 4月7日 消防少年団が発足する。
- 8月25日 入間市全地域を対象として、地域防災訓練を実施する。(主会場：彩の森入間公園)
- 9月8日 第8回入間市消防団消防操法大会を実施する。
- 10月26・27日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
- 10月29日 高倉4-173-1の消防団第1分団第3部車庫を、高倉5-537-3に移動し新築する。
- 11月14日 (株)安川電気入間事業所にて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による、大規模火災演習を実施する。

◇平成15年

- 3月1日 消防団1分団2部の消防ポンプ自動消防を更新する。
- 3月27日 西武分署の消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新する。
- 9月1日 入間市を中央会場として第24回八都県市防災訓練が行われる。
- 10月25・26日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
- 11月12日 イオン入間ショッピングセンターにて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模消防演習訓練を実施する。

◇平成16年

- 1月31日 出雲祝神社において、文化財防火演習を実施する。
- 3月6日 消防団5分団1部の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新する。
- 3月25日 本署の高規格救急自動車を更新する。
- 4月1日 消防長に大野満氏就任する。
- 8月29日 入間市防災訓練が行われる
- 10月16・17日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
- 11月11日 (株)ソーシンにて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模消防演習を実施する。
- 12月15日 消防団6分団2部車庫を宮寺4102-247に新設する。

◇平成17年

- 1月29日 円照寺にて、文化財防火演習を実施する。
- 3月19日 消防団1分団1部及び3分団3部の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新する。
- 4月1日 グループ制が導入される。
- 8月25日 第34回全国消防救助技術大会にロープブリッジ救出の部で出場する。
- 8月28日 入間市全地域を対象として、地域防災訓練を実施する。(主会場：入間市健康福祉センター)
- 9月11日 第9回入間市消防団消防操法大会を実施する。
- 9月25日 第2回狭山入間支部消防団消防操法大会を実施する。
- 10月22・23日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
- 11月17日 入間野田モールにて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模消防演習を実施する。

◇平成18年

- 1月28日 高倉寺にて文化財防火演習を実施する。
- 3月1日 春の火災予防運動において宝塚歌劇団星組トップスターの湖月わたるさんが一日消防長に就任する。
- 3月9日 消防団2分団1部の消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新する。
- 3月10日 本署の救助工作車（Ⅱ型）を更新する。
- 4月1日 消防団長に内村良一氏就任する。
” ひばり支援隊が発足する。
- 8月23日 第24回埼玉県消防操法大会において第3分団がポンプ車の部で第3位に入賞する。
- 8月27日 入間市防災訓練が行われる。
- 10月21・22日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
- 11月15日 元消防署長、小島勇夫氏が第7回危険業務従事者叙勲瑞寶雙光章を受賞する。
” 医療法人永仁会介護老人保健施設ゆりの木にて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉西部広域消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模消防演習を実施する。

◇平成19年

- 1月20日 氷川神社において文化財防火演習を実施する。
- 3月1日 本署の高規格救急自動車を更新する。
- 3月7日 藤沢分署の指令4号車を更新する。
- 3月22日 本署の指揮車を更新する。
- 4月1日 消防本部の組織を一部見直し、消防課を消防総務課と警防課に分課する。
- 8月19日 入間市防災訓練が行われる。
- 10月12日 消防団4分団2部の消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新する。
- 10月27・28日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
- 11月14日 ケーヨーデーツー・スーパーアルプスにて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模消防演習を実施する。

◇平成20年

- 1月26日 豊泉寺において文化財防火演習を実施する。
- 3月7日 本署の資機材搬送車を更新する。
- 3月10日 西武分署の指令5号車を更新する。
- 4月1日 消防長に長谷川純夫氏就任する。
- 8月24日 入間市防災訓練が行われる。
- 9月14日 第10回入間市消防団消防操法大会を実施する。
- 10月4日 消防団3分団1部の消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新する。
- 10月25・26日 消防フェアを万燈まつり会場で実施する。
- 11月11日 三井アウトレットパーク入間にて狭山市消防本部、所沢市消防本部、埼玉県防災航空隊との合同による大規模消防演習を実施する。

◇平成21年

- 1月22日 不動院において文化財防火演習を実施する。
- 2月26日 財団法人日本消防協会より団指令1号車が寄贈され、警防課へ配置される。
- 3月1日 本署の高規格救急自動車を更新する。

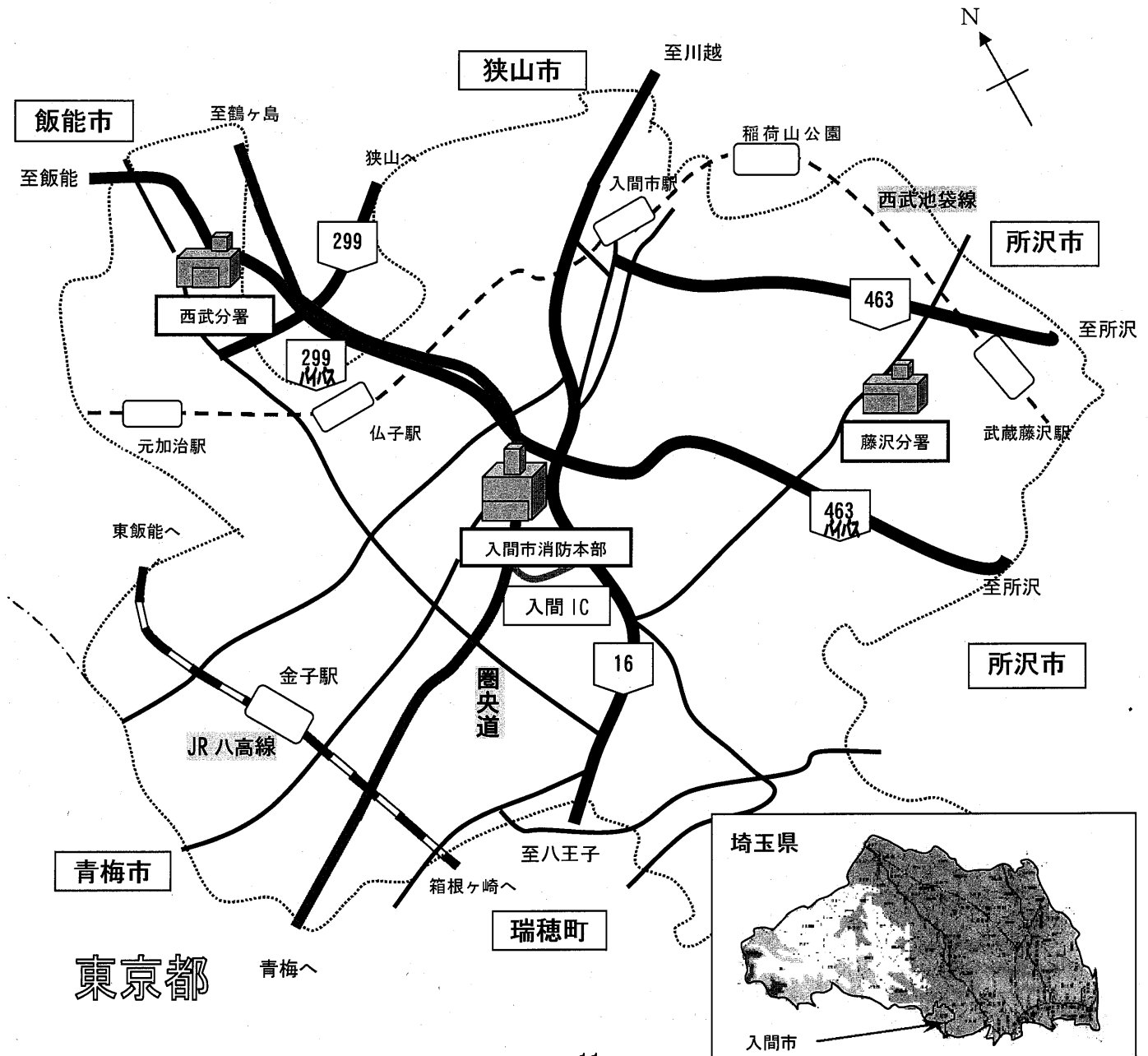
～位置と地勢～

当市は、都心から約40km圏に位置し、面積は44.74km²で東西9.3km、南北9.8kmの菱形をなしており、周囲は埼玉県所沢市、狭山市、飯能市並びに東京都青梅市、瑞穂町にそれぞれ接している。

市域全体は、海拔60mから200mでおおむね平坦ながら起伏のある台地と丘陵からなり、市の東南には狭山丘陵、西北には加治丘陵がそれぞれある。

また、市の西北には荒川の主流である入間川が流れ、中央部に霞川、南部に不老川がそれぞれ東流し、市の中心から西方にかけて地場産業の狭山茶の茶畑の広がりとともに自然に富んだ景観をなしている。

市内の主な交通網は、私鉄の西武鉄道池袋線とJR八高線の2路線があり、また道路は首都圏外周部の環状路線である国道16号線をはじめ299号線、407号線、463号線の国道が通り交通状況は比較的に便利である。さらに市域の中央を圏央道が通りインターチェンジ付近を拠点として、ますます産業の発展が見込まれている。



人口・世帯の推移

下表は過去10年間の人口の推移を表し、10年間で総人口4,104人、世帯は8,311世帯増加しています。
また、はじめて総人口が15万人をこえました。

各年4月1日現在

年次	世帯数	人口			人口密度 (人)
		総数(人)	男(人)	女(人)	
平成12年	50,994	146,555	73,443	73,112	3,276
平成13年	52,237	147,847	74,084	73,763	3,305
平成14年	53,471	148,902	74,614	74,288	3,328
平成15年	54,360	149,271	74,640	74,631	3,336
平成16年	55,244	149,630	74,841	74,789	3,344
平成17年	55,923	149,907	74,864	75,043	3,351
平成18年	56,661	149,635	74,757	74,878	3,345
平成19年	57,431	149,779	74,782	74,997	3,348
平成20年	58,204	149,894	74,779	75,115	3,350
平成21年	59,305	150,659	75,102	75,557	3,367

